

今週のビルマのニュース  
2010年6月25日【1024号】

選挙運動に様々な制限 選管委が通達

・選挙管理委員会は今週、総選挙に向けた運動についての規則を発表した。党本部・支部以外の場所で集会や演説をする場合には事前に許可を申請しなければならない。党旗を掲げたりスローガンを唱えて行進してはいけない。国軍や憲法を批判する内容の出版物や演説も禁止。「アジア自由選挙ネットワーク（ANFREL）」は、こうした規制は国際人権法に違反すると批判した（国営紙、24日イラワディほか）。

国民民主連盟（NLD）幹部が地方を回る

・国民民主連盟（NLD）の幹部がビルマ各地の支部を訪れている。幹部の一人ウィンティン氏によれば、一連の訪問はNLDのまとまりを維持し、元党员から現地の事情などを聞くのが目的（23日イラワディほか）。NLDは総選挙に参加しないことを決め、政党資格を失ったが、社会的な活動を続けている。

中国の武器製造会社がビルマで銅山開発へ

・中国の武器製造大手、中国北方工業公司（NORINCO）が今月、ビルマのモンユワ銅山開発に関する協力契約を軍政と結んだことがわかった。同社はウェブサイト上で「[モンユワ銅山開発は]中国の戦略的銅資源の補充と、ミャンマーへの影響力拡大につながる」と述べた（23日WSJほか）。

「世界の独裁者」No.3にタンシュエ上級大将

・外交専門誌フォーリン・ポリシー7・8月号は「世界の独裁者」番付を発表、ビルマのタンシュエ上級大将が3位だった。「最悪」の1位は北朝鮮の金正日総書記、2位はジンバブエのムガベ大統領（同誌）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

・ビルマ西部での豪雨による被害について、政府は18日に緊急援助物資（1,000万円相当）の供与を決定、22日に物資の引渡し式典（外務省発表）。

・税関管理職対象の税関リスクマネジメント研修（ラングーン、22日開講）。政府による「メコン地域における物流効率化支援」の一環（外務省発表）。

イベント・掲載情報

☆「創造的なビルマ連帯に向けて—映画『ビルマVJ』原作者に聞く」『情況』7月号（発売中）

☆民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が19日、65歳の誕生日を迎えた。オバマ米大統領やキャメロン英首相を始めとして、多くの政治家や著名人が氏の解放を求める声明等を発表した。ビルマ情報ネットワークのウェブサイトに一覧。

☆「2010年総選挙に反対するグローバル・キャンペーン」19日現在、35カ国 39,316人が署名。

・講演会・上映会「ビルマの過去と現在—ビルマから考える非暴力平和主義—」ビルマ企画実行委員会主催 ココラット氏講演および『ピュア ビルマ 難民キャンプの子どもたち』上映（立命館大学衣笠キャンパス明学館 94号教室、26日16時20分～）

・Asian Activist-α 2010！ 世界を変えようとする女性たち～ビルマ・女性に対する暴力への挑戦～主催：ヒューマンライツ・ナウ（青山学院大学総研ビル11階19会議室、26日13時半～）

・ビルマ女性国際法廷 ビルマ女性連盟ほか主催（青山学院大学6号館模擬法廷、27日13時～）

・総選挙に反対・国連事務総長にアウンサンスーチー氏と全政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう求めるアピール行動 在日ビルマ人共同行動実行委員会（国連大学前、29日15～16時）

・第93回みみの会 宇田有三氏講演会『ビルマ全土を歩いたフォトジャーナリストが明かす—「閉ざされた国ビルマ」の今』（東京都しごとセンター5F第2セミナー室、7月7日19時～）

・ビルマ市民フォーラム例会（池袋・ECOとしま8階、7月31日18時～）

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです  
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）  
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
[yuki@burmainfo.org](mailto:yuki@burmainfo.org) 080-2006-0165